

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2010年9月6日~9月10日)

発表日: 2010年9月3日 (金)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 日本経済短期チーム
TEL: 03-5221-4528

(9月6日~9月10日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
9月6日 (月)	金融政策決定会合(~7日)				
9月7日 (火)	14:00 7月景気動向指数 CI一致指数(前月差)	+0.5pt	+0.5pt	+0.4pt~+0.9pt	+0.1pt
	CI先行指数(前月差)	▲0.8pt	▲0.8pt	▲1.0pt~▲0.2pt	+0.4pt
	15:30 日銀総裁定例記者会見				
9月8日 (水)	8:50 7月機械受注 船電除く民需 (前月比)	+2.0%	+2.2%	▲1.4%~+5.2%	+1.6%
	(前年比)	+8.6%	+8.1%	+5.0%~+11.7%	▲2.2%
	8:50 7月国際収支 経常黒字(前年比)	+26.2%	—	—	▲18.2%
	(原数値)	16,675 億円	15,346 億円	11,940 億円~17,785 億円	10,471 億円
	8:50 8月マネーストック M2(前年比)	+2.6%	+2.6%	+2.4%~+3.0%	+2.7%
	M3(前年比)	+1.9%	+2.0%	+1.9%~+2.2%	+2.0%
	広義流動性(前年比)	+1.3%	+1.3%	+1.0%~+1.7%	+1.3%
	8:50 8月貸出・資金吸収動向				
	国内銀行貸出残高(調整後前年比)	—	—	—	▲1.7%
	13:30 7月特定サービス産業動態統計				
14:00 9月金融経済月報					
14:00 8月景気ウォッチャー調査 現状判断 DI	—	—	—	49.8	
先行き判断 DI	—	—	—	46.6	
9月9日 (木)	8:50 7-9月期法人企業景気予測調査				
	景況判断BSI 大企業製造業(前期比)	—	—	—	+10.0%
	全産業(前期比)	—	—	—	+4.0%
14:00 8月消費動向調査					
消費者態度指数(一般世帯)	—	—	—	43.3	
9月10日 (金)	8:50 4-6月期 GDP2次速報				
	実質GDP成長率(前期比)	+0.5%	+0.4%	+0.3%~+0.6%	+0.1%
	(同年率)	+1.8%	+1.5%	+1.0%~+2.6%	+0.4%
	名目GDP成長率(前期比)	▲0.5%	▲0.7%	▲1.1%~▲0.5%	▲0.9%
	GDPデフレーター(前年比)	▲1.8%	▲1.8%	▲2.5%~▲1.7%	▲1.8%
	8:50 8月企業物価指数(前月比)	▲0.3%	▲0.1%	▲0.4%~+0.1%	▲0.1%
	(前年比)	▲0.4%	▲0.2%	▲0.5%~0.0%	▲0.1%
	8:50 金融政策決定会合議事要旨				
	(8月9・10日分)				
	9月月例経済報告				

(注) 市場予測はBloomberg、日経quick調査をベースに作成

【重要指標の当社予測とコメント】

7月景気動向指数 CI一致指数/CI先行指数(前月差) 当社予想: 前月差 +0.5pt/▲0.8pt 中央値: 同 +0.5pt/▲0.8pt

CI一致指数は前月差+0.5ポイントが予想される。2ヶ月連続の上昇ではあるが、上昇幅は小さい。CI一致指数の回復ペースは鈍化しており、景気が減速傾向にあることが示唆されている。中国向けを中心として輸出が減速していることなどを背景に、生産の増勢が弱まっていることが影響しているとみられる。また、CI先行指数は前月差▲0.8ポイントと低下が予想される。先行指数では弱めの動きが目立っており、景気の先行きを占う上での懸念材料である。

(主任エコノミスト: 新家 義貴)

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

7月機械受注・船舶電力除く民需（前月比） 当社予想：前月比 +2.0% 中央値：同 +2.2%

前月比+2.0%と2ヶ月連続の増加を予想する。企業収益の増加を背景として、設備投資は緩やかに改善している。もっとも、その改善ペースは鈍く、設備投資に景気を牽引するほどの力はない。

（主任エコノミスト：新家 義貴）

4-6月期GDP 2次速報・実質GDP成長率 当社予想：前期比年率 +1.8% 中央値：同 +1.5%

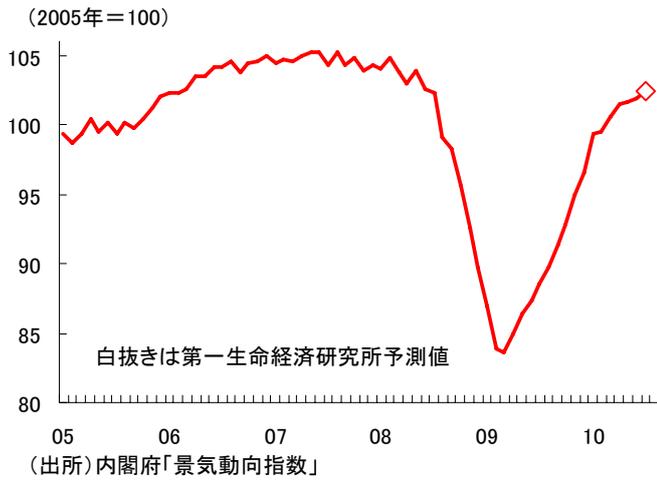
前期比年率+1.8%と、1次速報段階（同+0.4%）から上方修正されると予想する。設備投資と在庫投資がともに上方修正されるだろう。仮に4-6月期が前期比年率+1.8%に上方修正されたとしても、09年10-12月期（同+4.1%）や10年1-3月期（同+4.4%）から伸びが明確に鈍化していることには変わらないが、その減速度合いは1次速報段階で想定されていたものよりも緩やかだったということになる。1次速報公表直後には、日本経済は4-6月期から既に踊り場入りしていたとの声も出ていたが、2次速報で上方修正が見込まれることや他の統計の動向などから判断する限り、そうした見方は行き過ぎだったということだろう。4-6月期の段階では、あくまで「減速」にとどまっていると判断される。踊り場入りのタイミングは、2010年10-12月期以降になると予想される。

（主任エコノミスト：新家 義貴）

以上

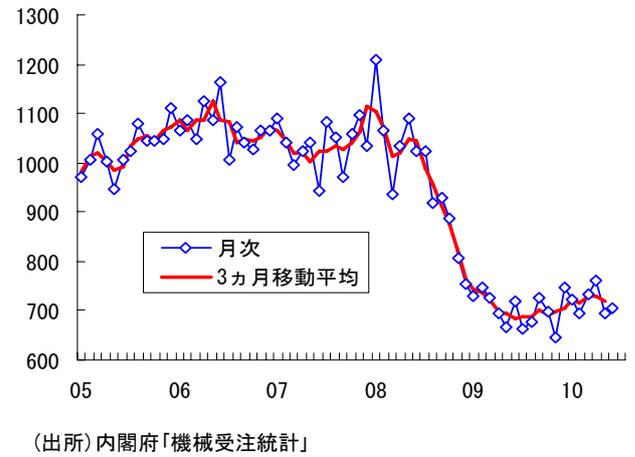
図表 1

CI一致指数



図表 2

機械受注
船舶・電力除く民需 (季調値)



図表 3

2次速報予測値

1次速報

	(%)	(%)
実質GDP	0.5	0.1
(前期比年率)	1.8	0.4
内需寄与度	0.1	▲ 0.2
(うち民需)	0.3	▲ 0.1
(うち公需)	▲ 0.1	▲ 0.1
外需寄与度	0.3	0.3
民間最終消費支出	0.0	0.0
民間住宅	▲ 1.3	▲ 1.3
民間企業設備	1.5	0.5
民間在庫品増加(寄与度)	0.1	▲ 0.2
政府最終消費支出	0.2	0.2
公的固定資本形成	▲ 3.1	▲ 3.4
財貨・サービスの輸出	5.9	5.9
財貨・サービスの輸入	4.3	4.3
名目GDP	▲ 0.5	▲ 0.9
(前期比年率)	▲ 2.3	▲ 3.7

※断りの無い場合、前期比(%)
(出所)内閣府「国民経済計算」

9月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8/30 (米)7月個人所得・消費 (欧)8月経済信頼感	31 7月鉱工業指数(8:50) 7月商業販売統計(8:50) 7月毎月勤労統計(10:30) 7月住宅着工統計(14:00) (米)8月シカゴPMI (米)8月消費者信頼感指数 (欧)8月消費者物価(速) (独)8月失業率 (欧)7月失業率 (インド)4-6月期GDP	9/1 8月軽自動車販売(14:00) 8月自動車販売(14:15) 10年利付国債 (米)8月ISM製造業景気指数 (米)7月建設支出 (欧)8月製造業PMI(確) (独)8月製造業PMI(確) (仏)8月製造業PMI(確) (英)8月製造業PMI (豪州)4-6月期GDP	2 8月マネタリーベース(8:50) (米)8月自動車販売台数 (米)7月中古住宅販売保留 (米)7月製造業受注 (欧)ECB理事会 (欧)4-6月期GDP(確) (欧)7月生産者物価 (マレーシア)金融政策委員会 (ブラジル)金融政策委員会	3 4-6月期法人企業統計(8:50) 7月家計消費状況調査(14:00) (米)8月雇用統計 (独)8月サービス業PMI(確) (仏)8月サービス業PMI(確) (欧)8月サービス業PMI(確) (欧)7月小売売上高 (韓国)4-6月期GDP(確) (インドネシア)金融政策委員会 (ブラジル)4-6月期GDP
6 金融政策決定会合(～7日) (欧)7月貿易収支	7 7月景気動向指数(14:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) (独)7月製造業受注 (豪州)金融政策委員会	8 7月機械受注統計(8:50) 7月国際収支(8:50) 8月マネーストック(8:50) 8月貸出・資金吸収(8:50) 7月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 9月金融経済月報(14:00) 8月景気ウォッチャー調査(14:00) 30年利付国債 (米)ページブック (米)7月消費者信用残高 (米)7月貿易収支 (独)7月貿易収支 (独)7月経常収支 (仏)7月貿易収支 (独)7月鉱工業生産 (英)7月鉱工業生産	9 7-9月期法人企業景気予測調査(8:50) 8月消費動向調査(14:00) (欧)ECB月報 (独)8月消費者物価(確) (英)BOE金融政策決定会合 (英)7月貿易収支 (韓国)金融政策委員会 (南ア)金融政策委員会	10 4-6月期GDP2次速報(8:50) 8月企業物価(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(8月9,10日分)(8:50) 9月月例経済報告 5年利付国債 (米)7月卸売在庫 (仏)7月鉱工業生産
13 (米)8月財政収支 (仏)7月経常収支 (欧)7月鉱工業生産	14 7月鉱工業指数・確(13:30) 7月商業販売統計・確(13:30) 20年利付国債 (米)8月小売売上高 (米)7月企業在庫 (独)9月ZEW景況指数 (英)8月消費者物価 (トルコ)4-6月期GDP	15 西村日銀副総裁講演 野田日銀審議委員挨拶 (米)8月輸入物価 (米)9月NY連銀指数 (米)8月鉱工業生産 (欧)8月消費者物価(確) (英)8月失業率	16 9月ロイター短観(8:30) 7月第3次産業活動指数(8:50) 白川日銀総裁挨拶 (米)8月生産者物価 (米)9月フィラ連銀指数 (欧)7月貿易収支 (英)8月小売売上高 (ニュージー)金融政策委員会	17 4-6月期資金循環(8:50) 7月毎月勤労統計・確(10:30) 7月建設総合統計(14:00) ※平成22年基準地価(16:50) (米)8月消費者物価 (欧)7月経常収支 (欧)7月建設支出 (トルコ)金融政策委員会
20 (米)9月NAHB住宅市場指数	21 7月景気動向指数改訂(14:00) 8月コンビニエンスストア統計(16:00) (米)8月住宅着工件数 (米)8月建設許可件数 (米)FOMC	22 7月全産業活動指数(13:30) ※8月全国百貨店売上高(14:30) 宮尾日銀審議委員挨拶 ※(欧)9月サービス業PMI(速) ※(欧)9月製造業PMI(速) ※(独)9月サービス業PMI(速) ※(独)9月製造業PMI(速) ※(仏)9月サービス業PMI(速) ※(仏)9月製造業PMI(速) (欧)7月鉱工業新規受注 (英)金融政策委員会議事録	23 (米)8月景気先行指数 (米)8月中古住宅販売件数 (ニュージー)4-6月期GDP	24 ※8月チェーンストア販売統計(14:00) (米)8月耐久財受注 (米)8月新築住宅販売件数 (仏)4-6月期GDP(確) (独)9月ifo景況感指数 (メキシコ)金融政策委員会
27 8月貿易統計(8:50) 8月企業向けサービス価格指数(8:50) 白川日銀総裁挨拶 (欧)8月M3 ※(オーストラ)7-9月期GDP	28 2年利付国債 (米)9月消費者信頼感指数 (独)9月消費者物価(速) (英)4-6月期GDP(確)	29 9月日銀短観(8:50) 8月投入・産出物価指数(8:50) (欧)9月経済信頼感	30 9月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 8月鉱工業指数(8:50) 8月商業販売統計(8:50) 8月住宅着工統計(14:00) (米)4-6月期GDP(確) (米)9月シカゴPMI (独)9月失業率 (欧)9月消費者物価(速)	10/1 8月消費者物価・全(8:30) 9月消費者物価・都(8:30) 8月家計調査(8:30) 8月労働力調査(8:30) 8月一般職業紹介状況(8:30) 9月軽自動車販売(14:00) 9月自動車販売(14:15) (米)8月個人所得・消費 (米)9月シカゴ大消費者センチ(確) (米)9月ISM製造業景気指数 (米)8月建設支出 (米)9月自動車販売台数 (欧)9月製造業PMI(確) (独)9月製造業PMI(確) (仏)9月製造業PMI(確) (欧)8月失業率 (英)9月製造業PMI

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

10月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9/27 8月貿易統計(8:50) 8月企業向けサービス価格指数(8:50) 白川日銀総裁挨拶 (欧)8月M3 ※(ハトナム)7-9月期GDP	28 2年利付国債 (米)9月消費者信頼感指数 (独)9月消費者物価(速) (英)4-6月期GDP(確)	29 9月日銀短観(8:50) 8月投入・産出物価指数(8:50) (欧)9月経済信頼感	30 9月短観業種別計数及び調査 全容(8:50) 8月鉱工業指数(8:50) 8月商業販売統計(8:50) 8月住宅着工統計(14:00) (米)4-6月期GDP(確) (米)9月シンゴPMI (独)9月失業率 (欧)9月消費者物価(速)	10/1 8月消費者物価・全(8:30) 9月消費者物価・都(8:30) 8月家計調査(8:30) 8月労働力調査(8:30) 8月一般職業紹介状況(8:30) 9月軽自動車販売(14:00) 9月自動車販売(14:15) (米)8月個人所得・消費 (米)9月ミシガン大消費者センチ(確) (米)9月ISM製造業景気指数 (米)8月建設支出 (米)9月自動車販売台数 (欧)9月製造業PMI(確) (独)9月製造業PMI(確) (仏)9月製造業PMI(確) (欧)8月失業率 (英)9月製造業PMI
4 9月マネタリーベース(8:50) 8月毎月勤労統計(10:30) 金融政策決定会合(～5日) (欧)8月生産者物価	5 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)9月ISM非製造業指数 (欧)9月サービス業PMI(確) (独)9月サービス業PMI(確) (仏)9月サービス業PMI(確) (欧)8月小売売上高 ※(仏)8月経常収支 (豪)金融政策決定会合 (インドネシア)金融政策決定会合	6 8月家計消費状況調査(14:00) 10月金融経済月報(14:00) (欧)4-6月期GDP(確) (独)8月製造業受注	7 8月景気動向指数(14:00) 10年利付国債 (英)BOE金融政策決定会合 (欧)ECB理事会 (独)8月鉱工業生産 (英)8月鉱工業生産 (フィリピン)金融政策決定会合	8 8月国際収支(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(9月6.7日分)(8:50) 9月景気ウォッチャー調査 (米)9月雇用統計 (米)8月卸売在庫 (独)8月貿易収支 (独)8月経常収支 ※(仏)9月消費者物価 (韓)金融政策決定会合
11 (仏)8月鉱工業生産	12 8月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 9月消費動向調査(14:00) (独)9月消費者物価(確) (英)9月消費者物価 (英)8月貿易収支	13 8月機械受注統計(8:50) 9月マネーストック(8:50) 9月貸出・資金吸収(8:50) (米)9月輸入物価 (欧)8月鉱工業生産 (英)9月失業率	14 9月企業物価(8:50) 8月商業販売統計・確(13:30) 30年利付国債 (米)8月貿易収支 (米)9月生産者物価 (欧)IECB月報 (独)8月鉱工業生産 (シンガポール)7-9月期GDP(予測値)	15 8月鉱工業指数・確(13:30) (米)9月消費者物価 (米)10月NY連銀指数 (米)10月ミシガン大消費者センチ(速) (欧)9月消費者物価(確) (欧)8月貿易収支 (トルコ)金融政策決定会合 (メキシコ)金融政策決定会合
18 10月ロイター短観(8:30) 8月第3次産業活動指数(8:50) 8月建設総合統計(14:00) (米)9月鉱工業生産 (米)10月NAHB住宅市場指数	19 8月毎月勤労統計・確(10:30) ※10月月例経済報告 5年利付国債 (米)9月住宅着工件数 (米)9月建設許可件数 (欧)8月経常収支 (欧)8月建設支出 (独)10月ZEW景況指数	20 8月景気動向指数改訂(14:00) 9月コンビニエンスストア統計(16:00) (米)ページブック (英)金融政策委員会議事録 (タイ)金融政策決定会合	21 ※10月主要銀行貸出アンケート調査(8:50) 8月全産業活動指数(13:30) 20年利付国債 (米)10月フィラ連銀指数 (米)9月景気先行指数 ※(欧)10月製造業PMI(速) ※(欧)10月サービス業PMI(速) ※(独)10月製造業PMI(速) ※(独)10月サービス業PMI(速) ※(仏)10月製造業PMI(速) ※(仏)10月サービス業PMI(速) (英)9月小売売上高 (中国)7-9月期GDP (ブラジル)金融政策決定会合	22 ※9月チェーンストア販売統計(14:00) ※9月全国百貨店売上高(14:30) (独)10月Ifo景況感指数
25 9月貿易統計(8:50) (米)9月中古住宅販売件数 (欧)8月鉱工業新規受注 ※(韓)7-9月期GDP(速)	26 9月企業向けサービス価格指数(8:50) (英)7-9月期GDP(速)	27 2年利付国債 (米)9月耐久財受注 (米)9月新築住宅販売件数 (欧)9月M3 (独)10月消費者物価(速)	28 9月商業販売統計(8:50) 9月投入・産出物価指数(8:50) 10月日銀展望レポート(15:00) 金融政策決定会合 日銀総裁定例記者会見(15:30) (欧)10月経済信頼感 (独)10月失業率 (ニュージーランド)金融政策決定会合	29 9月消費者物価・全(8:30) 10月消費者物価・都(8:30) 9月家計調査(8:30) 9月労働力調査(8:30) 9月一般職業紹介状況(8:30) 9月鉱工業指数(8:50) 9月住宅着工統計(14:00) (米)7-9月期GDP(速) (米)10月ミシガン大消費者センチ(確) (欧)9月失業率 (欧)10月消費者物価(速)

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。